

の世では最新の内容といえどもすぐに古くなるので、この本の価値を減じるものではなく、読者自ら最新データに当たるべきなのかもしれない。また、数式の説明が不十分なところや、図表に間違いや欠落のあるところが散見されたので、読者は注意を要する。

とはいうものの、この本は基本的な内容がコンパクトに網羅され、平易に解説されているので、特に高潮を専門とはしていないが一通りの知識を求められる防災業務に携る人や、高潮の数値予測などに関心のある

人たちに一読をお勧めしたい。

(追記)

大変残念なことに、著者の宮崎正衛氏は2004年4月13日にご逝去されました(享年82歳)。この本はまさに遺作です。謹んで故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、この本に啓発され高潮研究を受け継ぐ後継者が出てくることを祈念いたします。

(気象研究所 高野洋雄)

英文レター誌「SOLA」の創刊について

本年5月17日に開催された日本気象学会総会において、電子ジャーナルとしての英文レター誌「SOLA」の創刊が、2004年度の事業として正式に認められました。「SOLA」はScientific Online Letters on the Atmosphereの略名です。昨年の「天気」10月号でその誌名を募集し、集まった20件の応募を参考に、レター誌発行準備委員会(世話人:木田秀次理事)が理事会に提案し承認されました。応募して下さった会員の皆様に、この場を借りて感謝いたします。

新レター誌は、気象集誌で採用されているJ-STAGEをプラットフォームとし、速報性と流通性を重視した質の高い原著論文誌を目指しております。その特徴は

1. 電子ジャーナルを基本とし、受理された論文から1論文単位で順次電子出版する
2. 1論文仕上がり4ページまで。ただし、動画など

のマルチメディアを補足資料として含めることができる

3. 投稿から2か月以内に受理の可否を決定する
4. 内外の学術データベースとリンクすると共に閲覧・論文のダウンロードは無料とするなどとなっています。

レター誌発行準備委員会では、2005年1月より順次論文を掲載することを目指して、9月頃には投稿受付を始められるよう準備を急いでいます。会員の皆様には是非とも、受付開始に合わせてとっておきの論文をご投稿いただき、本学会が立ち上げる新しいレター誌を盛り立てて下さるようお願いいたします。

なお、投稿規定や投稿要領は、準備でき次第順次学会ホームページ等を通じてお知らせいたします。

レター誌発行準備委員会